

2018年3月期 中間期

決算説明資料

2017年11月14日

SMBC コンシューマーファイナンス 株式会社

URL : http://www.smbc-cf.com/management/ir_lib06.html

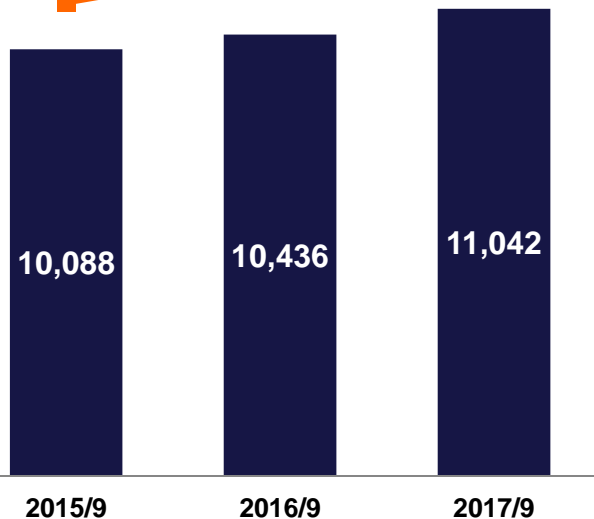
E-mail : ir@smbc-cf.com

- 連結・単体ともに増収、営業利益ベースで増益 を達成
- 各事業の業容拡大により、
プロミス・モビット合算の営業貸付金残高1兆円、保証残高1兆円、海外営業貸付金残高1,000億円 を達成

営業貸付金残高・顧客数(連結)

営業貸付金残高は1兆1,042億円 (+5.8%)、顧客数は217万人。
—プロミス、モビット、海外の各現地法人において、業容拡大に向けた営業施策が奏功。

■ 残高(億円) ■ 顧客数(千人)



金融事業

■プロミス・モビットともにサービスの拡充に取組み、営業貸付金残高が伸長。合算で1兆5億円(前年同期比+4.0%)

- ・【プロミス】2017年10月にアプリを起点とした総合サービス「アプリローン」開始。申込み、契約、入出金などの一連の取引をアプリへ集約し、アプリ1つでプロミスの各種サービスをシームレスに展開。
- ・【モビット】SMBCモビットへ社名変更予定(2017年12月)。2017年10月から三井住友銀行のローン契約機で新規申込がスタート。

保証事業

■提携先との連携強化に取組み、保証残高は1兆2,499億円(前年同期比+8.3%)

海外事業

■各現地法人の業容拡大により、営業貸付金残高が1,020億円(前年同期比+30.1%)

- ・【プロミス香港】設立から25年を経過。Webリニューアルなどに取組み、営業貸付金残高は385億円(前年同期比+17.4%)
- ・【プロミスタイランド】営業プロモーションの強化により、営業貸付金残高は304億円(前年同期比+30.5%)
- ・【中国本土7拠点】各地域に合わせた営業施策の推進により、営業貸付金残高は330億円(前年同期比+48.6%)

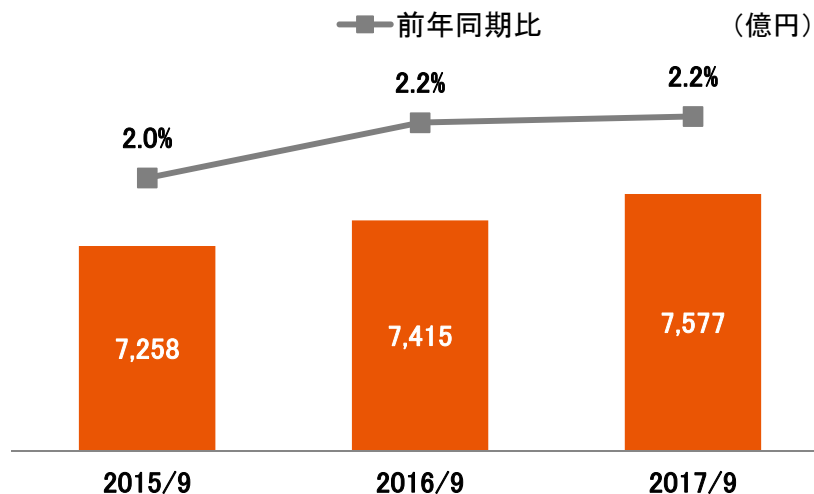
- ▶ 連結・単体ともに増収、営業利益ベースで増益
 - －(連結)営業収益1,363億円/営業利益348億円/当期純利益263億円
 - －(単体)営業収益962億円/営業利益239億円/当期純利益176億円

(単位: 百万円 / %)	連結			単体		
		(前年同期比増減)			(前年同期比増減)	
		増減額	%		増減額	%
営業貸付金残高(国内)	1,000,507	38,124	4.0%	757,727	16,231	2.2%
営業貸付金残高(海外)	102,017	23,619	30.1%	-	-	-
保証残高	1,249,875	95,347	8.3%	1,249,875	95,347	8.3%
営業収益	136,304	9,334	7.4%	96,207	3,963	4.3%
営業貸付金利息	85,306	4,938	6.1%	56,078	1,048	1.9%
信用保証収益	33,286	2,973	9.8%	33,286	2,973	9.8%
その他	17,711	1,421	8.7%	6,842	-59	-0.9%
営業費用	101,423	4,854	5.0%	72,209	2,850	4.1%
貸倒費用	34,847	2,060	6.3%	25,328	1,163	4.8%
債務保証費用	11,510	1,157	11.2%	11,510	1,157	11.2%
利息返還費用	-	-	-	-	-	-
その他	55,065	1,637	3.1%	35,369	529	1.5%
営業利益	34,880	4,479	14.7%	23,998	1,113	4.9%
経常利益	34,988	4,489	14.7%	24,061	1,138	5.0%
特別利益	0	-91	-100.0%	0	-91	-100.0%
特別損失	101	-265	-72.3%	102	-249	-70.8%
税引前利益	34,886	4,663	15.4%	23,958	1,296	5.7%
税金費用等(法人税等調整額含む)※	8,548	6,415	300.8%	6,270	6,174	-
当期純利益	26,337	-1,751	-6.2%	17,688	-4,877	-21.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	26,337	-1,751	-6.2%			

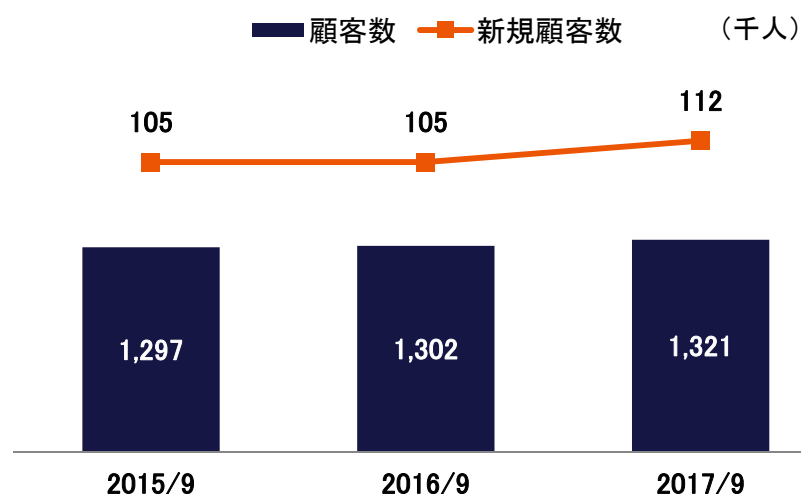
※SMFGによる 連結納税制度の適用によるもの

- 営業貸付金残高: 顧客の利便性向上への取組みを強化し、前年同期比162億円増(+2.2%)の7,577億円
- 新規顧客数: 顧客ニーズへの対応やWeb広告展開を強化し、3期連続10万人超
- 顧客数: 2016年3月期に反転した無担保ローン顧客数は、前年同期比+1.4%の132万人

営業貸付金残高



新規顧客数と顧客数(無担保ローン)



Webサービスを集約した「アプリローン」開始



～シームレス～
アプリを起点としたサービス
公式アプリをプラットフォームとして、お申込みからご契約、Web上での入出金、ご利用情報照会・優待クーポンなど、一連の取引がシームレスに行える「アプリローン」の提供を開始(2017年10月～)

～カードレス～ セブン銀行でのATM取引



セブン銀行のATMでカードがなくても入出金取引ができる新たなサービス「スマホATM取引」を導入(2017年10月～)

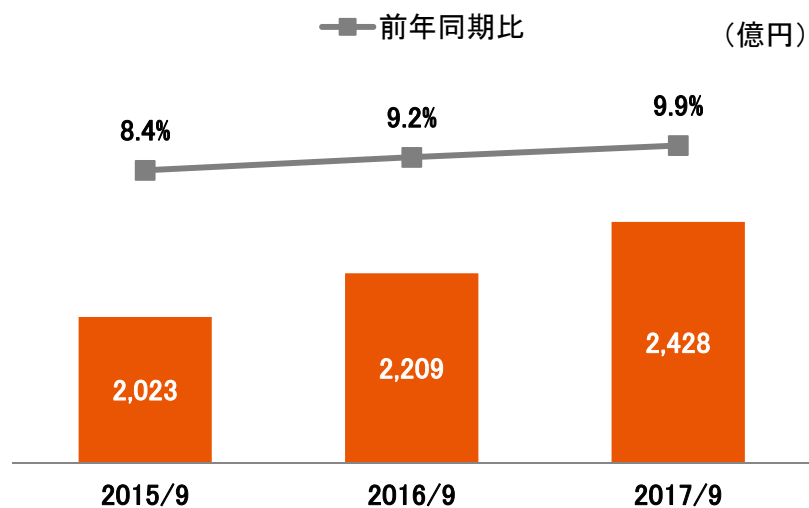
～キャッシュレス～ 三井住友VISAプリペイドへのチャージ



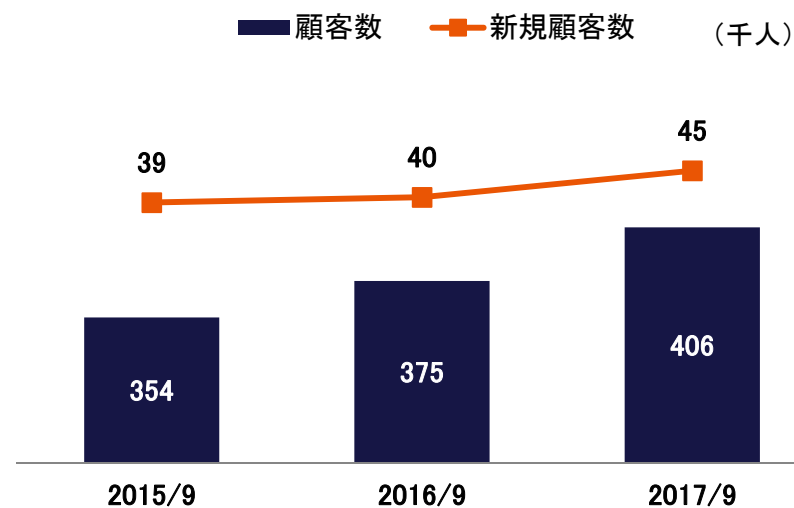
お借入れを、「三井住友VISAプリペイド」にチャージ(入金)できる機能を追加(2016年9月～)

- 営業貸付金残高: 順調に業容を拡大し、前年同期比219億円増(+9.9%)の2,428億円
- 顧客数: 新規顧客数の増加により、前年同期比30千人増(+8.1%)の406千人
- 営業損益: 業容拡大による営業貸付金利息の増加により増収増益

営業貸付金残高



新規顧客数と顧客数



トピックス

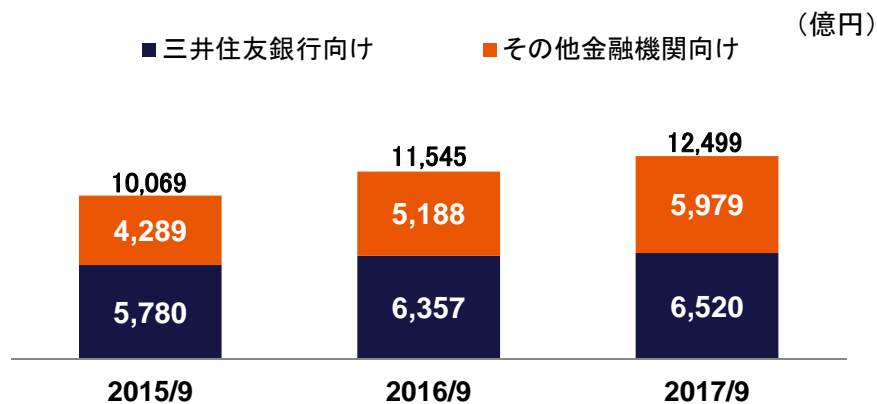
- セブン銀行ATMでのカードレス取引導入 (2017年5月～)
- 三井住友銀行のローン契約機で新規申込や、モビットカードの受取サービスを開始 (2017年10月～)

営業損益

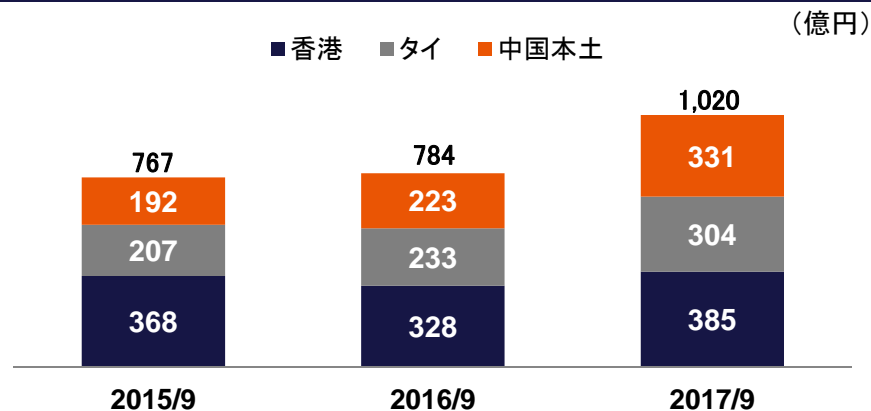
	2016/9	2017/9	前年同期比
営業収益	15,880	17,401	9.6%
営業利益	2,975	3,408	14.5%
経常利益	2,975	3,383	13.7%
当期純利益	2,049	2,351	14.7%

- 保証残高: 189先の提携金融機関と連携を強化し、前年同期比953億円増(+8.3%)の1兆2,499億円
- 海外営業貸付金残高: 各現地法人の業容拡大により、前年同期比236億円増(+30.1%)の1,020億円
- 香港: 設立25周年、Webリニューアル等による利便性向上を図り、前年同期比57億円増(+17.4%)の385億円
- タイランド: テレビCMなど営業プロモーション強化により、前年同期比71億円増(+30.5%)の304億円
- 中国本土7拠点: 各拠点到合わせた営業施策を推進し、前年同期比108億円増(+48.6%)の331億円

保証残高



海外営業貸付金残高

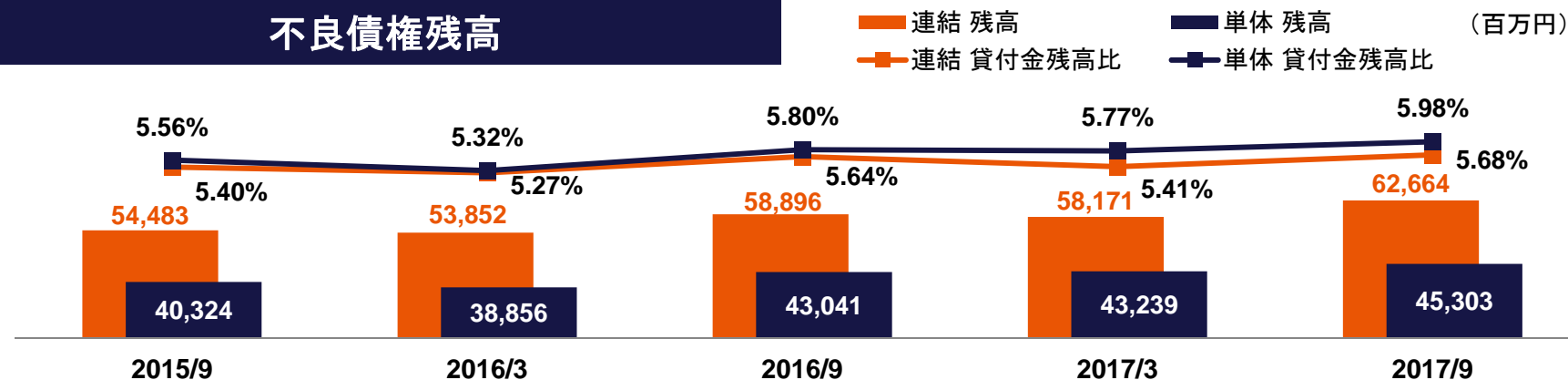


- 貸倒発生額: (連結)各事業の営業貸付金残高の増加に伴い、前年同期比26億円増の300億円
- 貸倒引当金: 償却債権および不良債権を精査し繰入を実施、貸倒引当率4.15%(前年同期比-0.1pt)
- 不良債権残高: 営業貸付金残高の伸長により前年同期比で増加したものの、不良債権比率は5%台で推移

貸倒引当金

(単位:百万円)	連結			単体		
	2016/9	2017/9	前年同期比 増減額	2016/9	2017/9	前年同期比 増減額
期首 貸倒引当金残高	64,839	69,408	4,568	40,942	43,236	2,294
発生額	27,388	30,044	2,655	20,055	21,942	1,886
繰入額(営業費用)	32,728	34,847	2,118	24,195	25,328	1,133
その他	-880	311	1,191	-1	58	59
期末 貸倒引当金残高	69,300	74,522	5,222	45,080	46,681	1,601
営業貸付金残高(単体・無担保)に関わる貸倒引当率				4.25%	4.15%	

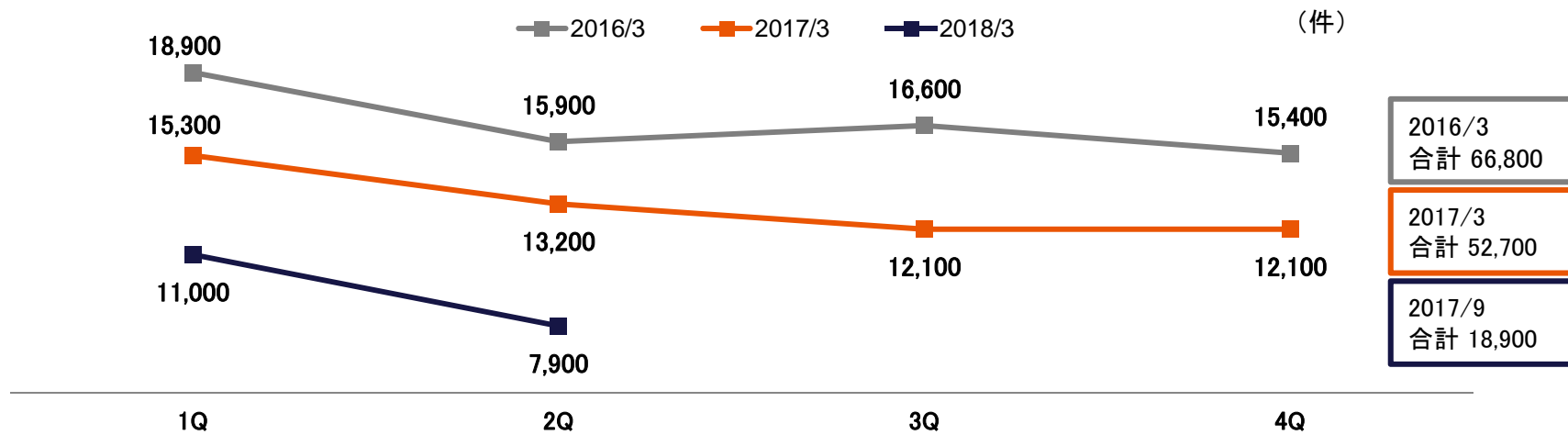
不良債権残高



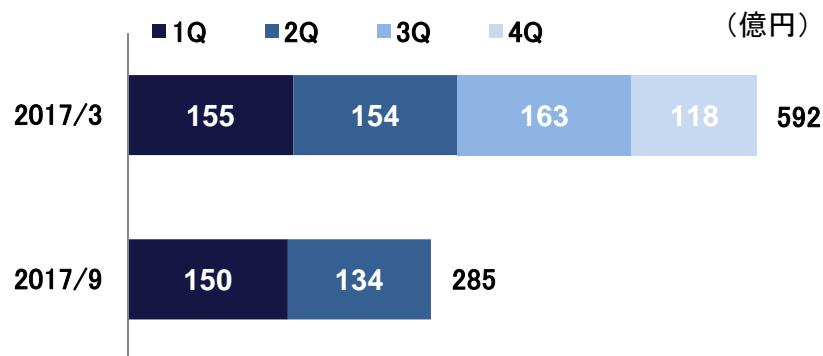
※不良債権の分類は、「破綻先債権、延滞債権、3カ月以上延滞債権、貸出条件緩和債権」

- 利息返還請求件数: 減少トレンドが続き、前年同期比-33.7%の-9.6千件
- キャッシュアウト: 前年同期比-8.1%の284億円
- 利息返還損失引当金: 期初1,216億円から296億円の取崩を実施し、9月末時点で残高919億円

利息返還請求件数



キャッシュアウト3ヶ月累計



利息返還損失引当金

